令和７年度　共に学び 認め励まし鍛え合い 笑顔輝く児童の育成

学校だより かがやく笑顔

R8. 2. 2　潮来市立牛堀小学校　No.14

筆先に込めた決意を、確かな成長の糧に

　保護者の皆様、地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に多大なるご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

　さて、１月に行いました書き初めでは、子どもたちの力作が校内を彩りました。大きく伸びやかな線、力強く止められた終筆。作品の一つひとつから、子どもたちが一歩ずつ、着実に成長している様子がうかがえました。

　１年生は、初めての書き初めにフェルトペンで挑みました。書いた言葉は「おめでとう」。一文字ずつ一生懸命に、そして丸みを帯びた健やかな文字からは、入学してからこれまでの成長を自ら祝うような、純粋な喜びが伝わってきました。２年生も同じくフェルトペンで「はつ日の出」と書きました。１年生の頃よりも一歩進んだ、力強く安定した筆跡。新しい１年を力いっぱい走りだそうとするやる気が伝わってきました。

　中学年からは毛筆に代わり、表現に深みが増したように思えました。３年生の「友だち」は、初めての条幅紙に苦戦しながらも、共に学ぶ仲間への思いを込めて、一画ずつ丁寧につなげようとする気持ちが伝わってきました。４年生の「明るい心」は、高学年の入口に立つ子どもたちの前向きな意思の表れです。太く堂々とした筆運びからは、何事にもくじけず、太陽のように周囲を照らそうとするエネルギーを感じました。

　そして、学校の柱となる高学年。５年生の課題は、「新しい風」です。最高学年への進級を目前に控え、自らの力で牛堀小学校に新しい変化をもたらそうとする気概が、鋭い筆勢から伝わってきます。伝統を引継ぎつつも、自分たちの色を出そうとする挑戦心が、その文字に命を吹き込んでいます。最後は、間もなく卒業を迎える６年生の「将来の夢」。６年間で培った集中力と技術を尽くした、集大成の作品です。将来の夢に向かって一歩ずつ歩む決意が一文字一文字に込められていると感じました。

　書き初めを終えた今、２月という月は、書いた文字が深く染み込んでいくように、この一年間の学びを自分自身の確かな力として定着させる「まとめ」の時期です。私たちはよく「有終の美」という言葉を使いますが、これは単に「終わり良ければすべて良し」という意味だけではありません。最後まで誠実に、粘り強く取り組むことで、次なるステップへの確かな土台を作るという意味も含まれています。

　冬の厳しい寒さに耐えてこそ、春の桜は美しく咲き誇ります。今、この一日の努力が、４月に大きな花を咲かせるための原動力になります。教職員一同、子どもたちが書いた「おめでとう」から「将来の夢」までのすべての言葉を大切に受け止め、一日一日、全力で教育活動に取り組んでまいります。今後とも、変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

１年生

２年生

３年生

４年生

５年生

６年生